

# 29. 8.-3 「Jークレジット」で環境経営を ウエイストボックスなどが説明会

ウエイストボックス（本社名古屋市中区、鈴木修一郎社長、電話052・265・5902）と中部経済産業局は2日、名古屋商工会議所で日本版の排出権取引制度「Jークレジット制度」に関する説明会を開催した。会場には製造系企業やエネルギー関連企業の担当者ら約140人が集まった。

まず中部経済産業局の担当者が地球温暖化の現状と日本の対策について説明し、「Jークレジットは企

業だけでなく、自治体や地域のコミュニティなどで



環境を説明するウエイストボックスの鈴木修一郎社長

も作ることができる。ぜひ一度窓口にお問い合わせしてみたい」と呼びかけた。

ウエイストボックスの鈴木修一郎社長は、自社の取

り組みと環境価値市場の現状について解説。「当社では制度の周知活動やプロジェクトの創出支援など、さまざまな活動を行っている。現在、電気事業者からの

需要が非常に増えている」と話した。

Jークレジット制度は、日本国内で行われたCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）の排出削減量や、森林管理などによる

CO<sub>2</sub>の吸収量をクレジットとして国が認定し事業者間で売買できる制度。制度の利用によるカーボンオフセット推進などが期待されている。